



平成28年9月17日 発行  
 第 71 号  
 浄土真宗本願寺派  
 山陰教区 神門組  
 発行者 藤野 昭信  
 TEL 0853②1628  
 FAX 0853②1601

**新年度を迎えて**  
 神門組組長 長楽寺住職 藤野 昭信

今年度より再び四年間、神門組組長としてお世話をさせて頂くことになりました。

今年度は、専らご門主の伝灯奉告法要への団体参拝が、来年度に控えています。

新しいご門主は、『念仏の教えは時代によって変わることはないが、その伝え方は、時代とともに変化していく』という趣旨のことを述べておられます。

寺院を取り巻く環境は、時代とともに移り変わっています。良い方に変わっているならともかく、時代はいわゆる「仏事離れ・寺離れ」を起しているとも言われています。

今までの伝道に加え、今までにない形での、念仏の教えを伝える場所・方法を作り出す必要があります。

お寺とご門徒が、葬儀や法事という仏事だけで繋がり、お寺の法要に参拝、行事へ参加するご縁が少なくなれば、念仏の教えが伝わる場所は縮小します。

今までのやり方だけが続けていくことは、再考すべき時代を迎えています。

宗派では「実践運動」を立ち上げ、同じく全教区・全組においても推進することになっていきます。

神門組では過去四年間、高齢者施設への奉仕活動を目指していましたが、本年度からは新たにインターネットのホームページ開設を準備・検討中です。

顔を突き合わせる伝道が一番大事ですが、社会の変化に対応する準備も必要です。

神門組実践運動開始の折には、ご協力とご参加をお願い致します。合掌

**神門組仏教婦人会 大会を終えて**  
 西園寺仏教婦人会会長 高塚ヨシミ

六月十九日、「平成二十八年度神門組仏教婦人会大会」が、上島町西園寺を会所に開催されました。

当日は天候にも恵まれ、約百三十名の会員の皆様にご参加いただき、本堂はあふれんばかりの賑やかな大会になりました。

ご講師は、本願寺派布教使・江津組長玄寺住職・岡本広樹先生で、「合掌 念仏の生活」と題したご法話を聴聞しました。先



生のユーモアを交えた暖かい口調からのお話は心にしみ、皆様と共にこの度のご法縁を喜びました。

また、コール蓮で指導いただきます岸裕希さん、伴奏佐野由奈さんには、仏教讃歌「やさしさにであつたら」を歌唱指導していただき、楽しい

時間も過ぎました。十分なおもてなしもできませんでしたが、帰り際に「参加してよかった」とのお声を聞くことができ、嬉しく思いました。

前日からの準備、又、当日は仏社役員の皆様にも駐車場等のお手伝いをいただき、無事大会を終えることができました。皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。合掌

# 神門組総代会研修会報告

神門組総代会 会東部ブロック  
善福寺総代 曾田 量一

二〇一六（平成二十八）年六月二十日、神門組総代会会東部ブロック担当にて各寺院総代、ご住職を含め八十一名の参加者のもと、ニューウエルシティー会場に「総代会研修会」が開催されました。

開会式後の研修会では、本願寺派布教使で西圓寺ご住職の佐々木弘信師による「法統継承に際しての消息」～「自信教人信」のお言葉を体して～の法話を聴聞しました。



二〇一四（平成二十六）年六月六日、龍谷門主第二十五代専如ご門主様の「法統継承に際しての消息（お手紙）」の中にある「自信教人信」のお言葉について、「自信（自ら信じ）」「教人信（人を教えて信ぜしむる）」は切り離すことなく一

体のものであって、「自信」の喜びはそのまま「教人信」へとあらわれ、さらに「教人信」から「自信」へと立ち返って、いよいよ法の真実が明らかになっていく。それは法を伝えていく（教人信）ところに、自らが法に聞かされ育てられていく（自信）道であるからと、その意を分かちやすくお話しいただきました。「ともすれば名ばかりの門徒、形だけの僧侶になっていないか」「お寺と門徒との関係が、ただ形式的・習慣的な儀礼のみでつながっていないか」という反省か

## 平成二十八年 度 山陰教区 門徒推進員連絡協議会 総会・研修会に出席して

門徒推進員連絡協議会会長 藤井 健蔵

去る七月三十一日、首記の会に神門組から十六名の方々と共に出席させて頂きました。

これまでは本願寺山陰教堂での開催で、何時もすし詰め状態でしたので、今回は初めてゆつたりとした松江テルサが会場でした。

今回の研修会は、「うけつぐ伝灯 伝えるよろこび」～「伝灯奉告法要についてのご消息」を



目指し、二〇一二年より「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）が進められています。

ら、親鸞聖人七百回大遠忌を契機とし「基幹運動」が進められてきましたが、より広く実践していくことを

「現代という時代において、どのようにしてご法義を伝えていくのか、宗門の英知を結集する必要がありませう」と示されたご門主のお言葉を、改めて考えさせられた研修会でした。

研修会終了後は懇親会に移り、神門組各寺院ご住職、総代が一堂に会して親しく懇談し、「伝灯奉告法要ご修行」に向けて積極的に取り組もうという誓いを新たにして研修会を終了いたしました。

合掌

いただいたり、をテーマとして、本願寺派布教使・覚専寺住職佐々木俊教師のご講話を聴聞いたしました。

ご消息には、次の五つの事柄について述べておられますが、その一つ一つについて解説して下さいました。

一、「伝灯奉告法要」の修行。

二、親鸞聖人が開顕され、歴代ご門主様により継承されてきた浄土真宗のご法義。

三、現代社会が抱える様々な課題と、積極的な取り組みの必要性。

四、宗門の行動指針。

五、宗門総合振興計画。

第一については、法灯がご門主様に伝えられたことを仏祖に奉告するべく、浄土真宗のみ教えの隆盛と宗門の充実発展を期して行われる法要であり、ご門主様のご消息で示されたお心を一人ひとりが深く受け止め、法要に参拝させて頂きましようとのことでした。

第二では、ご門主様が浄土真宗のみ教えについて、阿弥陀如来のご本願により、迷いの世界を生きる私たちが、確かな拠り所を持って生き抜くことの有り難さ・尊さをお示し下さったと話されました。

第三では、私たちの自己中心

的な生き方が、どのような形となって社会に現れるかをお示し下さったとのことでした。それは、科学技術の発達により、便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化にとどまらず、核家族化、人口の流動化によって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり、新たな悩みや不安を生み出しているとのこと指摘です。

第四では、宗門の使命、つまり私たちはどのように考え行動するかを、「多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります」と述べられ、その先に「自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」道を拓かれていくと示されたことを話されました。

第五では、この浄土真宗のみ教えの素晴らしさを、一人でも多くの方々に伝えていくことの大切さをお示し頂きましたと話されました。

以上がご講話のあらましですが、何れにしましても私たち門徒推進員は、資格ではなく自覚であることを認識して活動して行かねばと思った次第です。

合掌



# 神門組仏教壮年会連盟 平成二十八年度 総会並びに研修会報告

神門組仏教壮年会連盟 理事長 板倉 祥



年度報告ののち役員改選があり、今年度の予算・事業計画案を承認いただきました。また、山陰教区理事選出口ローテーションも承認いただき、今年度も前理事

梅雨明けの猛暑日の七月十八日（海の日）、遠照山正蓮寺様を会所として、平成二十八年度の総会並びに研修会を開催しました。当日は予定より多い百八十余名の参加をいただき、厚くお礼申し上げます。

総会では、本田前理事長の前長本田和政様には、引き続き教区の理事をお願い致しました。続いての研修会には、本願寺布教団連合会元総団長補佐で、備後教区奥組浄福寺住職・山下義円師をお迎えして、講題「親鸞聖人に聞き 晩年の生き方を問う」と題したご講話を聴聞しました。

年度報告ののち役員改選があり、今年度の予算・事業計画案を承認いただきました。また、山陰教区理事選出口ローテーションも承認いただき、今年度も前理事

講話から難しい内容と思いが少し構えていましたが、お話が始まると笑いもあり、皆引き込まれていきました。各宗派の数や二十年から三十年前の門徒数と現在の門徒数の変化、また私たちがいかに身近な家族や親しい人に正しい教えを伝えていくのかなど、深く考えさせられました。特に近年の若者によるカルト集団への勧誘などの話を聞くと、正しい教えを正しく伝えればカルト教団の誘いなどには乗ることなどない。正しい教えをまず家庭からつたえなければと、改めて考えさせられました。楽しく、自分を反省する時間をいただき感謝致します。ご講話ありがとうございました。先

話ありがとうございました。先生にはまたご縁のあることを念じております。今年も組内仏未結成寺院の皆様にご案内致しましたが、参加がなかったのは残念です。伝灯奉告法要のスローガン「うけつぐ伝灯・伝えるよろこび」や「法要のご消息をいただいで、私たち仏教連盟としても、新たな第一歩を踏み出す目標をこれから考えていきたいと思えます。最後にになりましたが、受付にてこの度の熊本地震災害の義捐金をお願い致しましたところ、三万二千五百八十八円の温かい浄財をいただき、すぐに本山に送金させていただきます。ありがとうございます。次年度の会所長楽寺様でまたお会い致します。今回、会所の皆様方には、暑い中を前日からの準備や後片付けと、いろいろお世話をいただきありがとうございます。また、会員の皆様も暑い中参加いただきありがとうございます。皆様のご協力により無事終えることができましたこと、感謝致しております。今後とも、仏教連盟が発展していきますよう、ご協力をお願いいたします。

合掌

神門組新役員

組長〈再任〉



藤野 昭信 (長楽寺)

副組長〈再任〉



雲藤 一英 (西念寺)

副組長〈再任〉



鈴木 二朗 (明顕寺)

副組長〈新任〉



三浦 寛信 (長泉寺)

監事

教区会議員

僧侶

門徒

南 部 亀谷 恵隆 (光林寺)  
西 部 成相 教専 (観音寺)  
北 部 勝島 徹正 (願立寺)  
中央部 藤原 紀章 (光明寺)

各事業担当者 (昨年度引き継ぎの場合を含む)  
団体役員と担当者

連研担当

亀谷 恵隆 (光林寺)  
藤原 芳章 (光明寺)  
松林 彰信 (浄眼寺)

僧侶研修担当

三浦 寛信 (長泉寺)  
藤原めぐみ (正善寺)  
堀西 雅亮 (真宗寺・白枝)

若手寺院関係者担当

仏教壮年会連盟

板倉 祥 (明顕寺)  
井上 静夫 (長泉寺)  
鈴木 二朗 (明顕寺)

仏教婦人会連盟

山田 明子 (正蓮寺)  
小川 祐子 (願楽寺)  
雲藤 芳子 (西念寺)

少年連盟

日溪 清毅 (正蓮寺)  
雲藤 一英 (西念寺)  
亀谷 恵隆 (光林寺)

副委員長

太田 千恵 (善福寺)

総代会

和野 昭男 (能正寺)  
曾田 量一 (善福寺)  
樋野 宏文 (明顕寺)

寺族婦人会

大梶 香恵 (能正寺)

事務局長

松田まひる (西楽寺・今市)  
松林 芳美 (浄眼寺)  
松田 周邦 (西楽寺・今市)

門推協議会

藤井 健蔵 (乘光寺)  
今岡 昌紀 (願楽寺)  
奥井 昌子 (明顕寺)

副会長

北島 清秀 (乘光寺)

担当

佐々木 弘信 (西圓寺)

副委員長

鈴木 二朗 (明顕寺)  
藤井 健蔵 (乘光寺)

報恩講のご案内

中	央	部
今市	明顕寺	10月17日・18日 2時より
塩治	長楽寺	10月22日・23日 2時より
白枝	願楽寺	10月25日・26日 2時より
大津	光明寺	10月30日・31日 2時より
下古志	正蓮寺	11月 5日・ 6日 2時より
今市	西楽寺	11月 7日・ 8日 2時より
矢野	長泉寺	11月16日・17日 2時より
白枝	真宗寺	11月24日・25日 1時30分より

西	部
大池	慶正寺 未定 未定
神門	浄眼寺 10月 2日 2時より
口田儀	清龍寺 11月15日 1時30分より
奥田儀	能正寺 11月 6日 1時30分より
差海	観音寺 11月19日 2時より
江南	西蓮寺 11月23日 2時より
神門	願勝寺 10月29日 2時より
久村	西楽寺 11月27日 2時より

東	部
上津	善福寺 11月13日 1時30分より・7時30分より
上津	西円寺 11月17日・18日 1時30分より
所原	東林寺 11月20日 2時より
稗原	正応寺 11月23日 1時30分より
船津	正善寺 11月24日・25日 24日・2時より 25日・10時より
所原	西念寺 都合により中止します

南	部
山口	西善寺 10月29日 1時より
窪田	明円寺 11月23日 1時30分より
山口	光林寺 11月23日 1時より
窪田	明教寺 12月 4日 1時30分より

北	部
荒木	明源寺 10月 9日 1時30分より
大社	乘光寺 11月27日・28日 27日・2時より、6時30分より 28日・10時より、1時より
大社	願立寺 11月28日・29日 28日・7時30分より 29日・10時より、1時より
荒木	知西寺 12月11日 1時30分より

おさそいあわせ  
お参りください